令和6年度　江戸川区立江戸川小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	自他ともに認め合い、主体的に行動する人		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	保護者・地域とともに共育・協働する学校 自他ともに認め合い、主体的に行動できる児童 教え育むプロとしての指導力がある教師
前年度までの本校の現状	成果	＜成果＞ 〇児童一人一人の状況に応じたきめの細かい指導や支援を工夫しようと学校全体で意欲的に取り組み、教育活動を充実させることができた。	課題	＜課題＞ 〇さらなる児童理解と、個別最適な学びを保障するための学習指導力、生活指導力の向上が必要である。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	〇授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・授業展開の統一化 「めあて」「個で考える」「学び合う」「振り返り」を流れで実施	・児童アンケートにおいて８０％以上が肯定的評価											
		・毎学期、東京ベーシックドリルの診断テスト、漢字テストの実施	・全児童の伸び率が５％向上											
	〇読書科の更なる充実	・探究的な学習を全学年年間12時間実施 ・高学年で毎週１回、探究的な自主学習を実施	・実施１００％											
体力の向上	〇個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・始業前の全校運動遊び、朝運動の実施	・児童アンケートにおいて、80％以上が肯定的評価											
		・学期に1回のなわ跳び週間の設定	・80％以上の児童が江戸川区なわ跳びコンテストに参加											
共生社会の実現に向けた教育の推進	〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用	・毎月１回、、管理職と特別支援教育担当教員等との打ち合わせを実施											
	〇定期的な異学年交流の実施	・毎月１回、異学年交流（なかよし班活動）の実施	・児童アンケートにおいて、80％以上が肯定的評価											
	〇児童養護施設等との連携	・毎学期１回、関係諸機関との連絡協議会の実施	・各学期1回以上の連携協議会の実施											
不登校・いじめ対	〇不登校対策の実施・充実	・毎週１回生活指導夕会を設定及び情報共有	・１００％実施											
	〇hyper-QUの活用	・QUテストの児童の実態把握に基づいた指導の推進	・年に1回校内でQU研修会を実施											

応の充実	○教育相談の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化	・不登校児童とのＳＣ、ＳＳＷ連携率100％											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校ホームページの充実等	・学校ホームページの更新	・毎週２回更新を行う											
	○学校関係者評価の充実	・毎学期１回、学校評議員を招待し、参観を依頼	・児童、保護者、地域の学校の教育活動への肯定的評価が８０％以上											
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・月１回の定時退勤日の設定	・全教職員の月残業時間55時間以下											
	○教員研修の実施	・教員が互いに授業を参観し合う授業公開Weekを毎学期１回実施	・８０％以上の教員が研究授業を実施											
	○人権教育の推進	・年６回、教職員の人権教育研修を実施	・１００％実施											